



独立行政法人

大学改革支援・学位授与機構

National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education

機構ニュース

Vol.203 2020 April

今月の記事

Top News

- 15 人に博士の学位を授与
—大学院博士課程相当の課程修了者—
……………1
- 令和元年度学位記伝達式を開催
—防衛医科大学校医学教育部医学研究科を修了した者—
……………1
- 1,061 人に学士の学位を授与
—学部相当の課程修了者—
……………2
- 18 人に修士の学位を授与
—大学院修士課程相当の課程修了者—
……………3
- 2 人に博士の学位を授与
—大学院博士課程相当の課程修了者—
……………3

評価事業

大学機関別認証評価等について

- 令和元年度実施大学機関別認証評価の評価結果について
……………4
- 令和元年度実施大学機関別選択評価の評価結果について
……………4

高等専門学校機関別認証評価について

- 令和元年度実施高等専門学校機関別認証評価の評価結果について
……………6

- 令和元年度実施選択的評価事項に係る評価の評価結果について
……………6

法科大学院認証評価について

- 令和元年度実施法科大学院認証評価の評価結果について
……………8

質保証連携

諸外国の質保証制度・動向情報の収集・整理・提供

- 新規刊行物のご案内 — 英国の高等教育・質保証システムの概要（第3版）
……………9

調査研究

- 『大学評価・学位研究』の第20号・第21号合併号を刊行
……………10

機構の窓

- 会議の開催状況
……………11
- 新型コロナウイルス感染拡大に関連した対応について
……………12

主要行事日程

- Schedule（5月～6月）
……………13

TOP NEWS

○ 15 人に博士の学位を授与 ー大学院博士課程相当の課程修了者ー

令和元年9月に防衛医科大学校医学教育部医学研究科を修了した博士の学位授与申請者に対して、医学・薬学専門委員会において、論文審査及び口頭試問が行われました。

この審査結果に基づき、令和2年2月21日(金)開催の学位審査会において最終審査が行われ、15人に対して学位を授与することを決定しました。

＜博士の学位取得者数＞

認 定 課 程 名	専 攻 分 野	取 得 者 数 (人)
防衛医科大学校医学教育部医学研究科	医 学	15

○ 令和元年度学位記伝達式を開催 ー防衛医科大学校医学教育部医学研究科を修了した者ー

当機構は、防衛医科大学校の大学院に相当する教育課程を修了した者のうち、当機構における審査（学位論文及び口頭試問）を受け、合格した者の学位の授与について、令和2年2月28日（金）、千代田区一ツ橋の当機構竹橋オフィスにおいて、学位記伝達式を開催しました。

伝達式では、各関係者列席のもと、防衛医科大学校の長谷学校長へ学位記が伝達され、福田機構長からの「学位の質を保証し、国際的な通用性を担保するために、今後とも貴大学校との緊密な連携をはかりながら精進を重ねていきたい。」との挨拶により伝達式は締めくくられました。また、伝達式終了後、講評が行われ、研究開発部の教員との意見交換が行われました。



令和元年度学位記伝達式の様子

○ 1,061 人に学士の学位を授与 ―学部相当の課程修了者―

大学の学部に相当する教育を行う課程として認定した課程の令和2年3月修了者から学士の学位授与の申請があり、学位審査会における審査の結果、1,061 人の申請者に学士の学位を授与しました。

＜学士の学位取得者数＞

認 定 課 程 名	専 攻 分 野	取 得 者 数 (人)
防衛大学校本科	理 学	36
	工 学	300
	社 会 科 学	69
	人 文 科 学	32
	計	437
防衛医科大学校医学教育部医学科	医 学	70
防衛医科大学校医学教育部看護学科	看 護 学	114
水産大学校本科	水 産 学	195
海上保安大学校本科	海 上 保 安	47
気象大学校大学部	理 学	11
国立看護大学校看護学部看護学科	看 護 学	103
職業能力開発総合大学校総合課程	生 産 技 術	84
合 計		1,061

○ 18人に修士の学位を授与 一大学院修士課程相当の課程修了者一

令和2年3月に防衛大学校理工学研究科前期課程、同校総合安全保障研究科前期課程、水産大学校水産学研究科、国立看護大学校研究課程部看護学研究科前期課程を修了する見込みの修士の学位授与申請者に対して、社会科学、看護学・保健衛生学・鍼灸学、工学・芸術工学、水産学の各専門委員会において、論文審査及び口頭試問が行われました。

この審査結果に基づき、学位審査会において最終審査を行った結果、18人に対して学位を授与することを決定しました。

＜修士の学位取得者数＞

認 定 課 程 名	専 攻 分 野	取得者数（人）
防衛大学校理工学研究科前期課程	工 学	3
防衛大学校総合安全保障研究科 前期課程	安 全 保 障 学	9
水産大学校水産学研究科	水 産 学	1
国立看護大学校研究課程部 看護学研究科前期課程	看 護 学	5
合 計		18

○ 2人に博士の学位を授与 一大学院博士課程相当の課程修了者一

令和2年3月に防衛大学校理工学研究科後期課程及び国立看護大学校研究課程部看護学研究科後期課程を修了する見込みの博士の学位授与申請者に対して、理学、看護学・保健衛生学・鍼灸学の専門委員会において、論文審査及び口頭試問が行われました。

この審査結果に基づき、学位審査会において最終審査を行った結果、2人に対して学位を授与することを決定しました。

＜博士の学位取得者数＞

認 定 課 程 名	専 攻 分 野	取得者数（人）
防衛大学校理工学研究科後期課程	理 学	1
国立看護大学校研究課程部看護学研究科 後期課程	看 護 学	1
合 計		2

評価事業

■大学機関別認証評価等について

○ 令和元年度実施大学機関別認証評価の評価結果について

当機構では、令和元年度に実施した大学機関別認証評価の評価結果を評価報告書として取りまとめ、当該大学及びその設置者へ通知するとともに、文部科学大臣に報告しました。

今回、認証評価を実施した全ての大学が、大学設置基準をはじめ関係法令に適合し、当機構の定める大学評価基準を満たしているとの評価結果となりました。

なお、対象大学ごとの評価結果については、全体を通じての概要等を加え当機構のウェブサイト（https://www.niad.ac.jp/evaluation/certification_evaluation/ce_university/daigaku_hyouka/kekka/r_1.html）に掲載するなど、広く社会に公表しています。

<対象大学>

【国立大学】

- | | | | |
|-----------|----------|------------|----------------|
| ・室蘭工業大学 | ・北見工業大学 | ・弘前大学 | ・岩手大学 |
| ・山形大学 | ・東京外国語大学 | ・長岡技術科学大学 | ・岐阜大学 |
| ・豊橋技術科学大学 | ・京都大学 | ・京都教育大学 | ・和歌山大学 |
| ・徳島大学 | ・鳴門教育大学 | ・総合研究大学院大学 | ・北陸先端科学技術大学院大学 |

○ 令和元年度実施大学機関別選択評価の評価結果について

当機構では、令和元年度に実施した大学機関別選択評価の評価結果を評価報告書として取りまとめ、当該大学及びその設置者へ通知しました。

今回、選択評価を実施した大学の評価結果は、次のとおりとなりました。

<評価結果>

○選択評価事項C「教育の国際化の状況」（1大学）

【国立大学】

- | | |
|---------|------------------|
| ・九州工業大学 | 目的の達成状況が極めて良好である |
|---------|------------------|

※評価結果の表記について

評価結果	判断の際の考え方
目的の達成状況が極めて良好である。	観点ごとの分析において、取組状況や活動状況が非常に優れており、目的に照らして達成状況が極めて良好であると判断される場合
目的の達成状況が良好である	観点ごとの分析において、取組状況や活動状況が優れており、目的に照らして達成状況が良好であると判断される場合
目的の達成状況がおおむね良好である	観点ごとの分析において、取組状況や活動状況に改善すべきところはあるが、目的に照らして達成状況がおおむね良好であると判断される場合
目的の達成状況が不十分である	観点ごとの分析において、取組状況や活動状況に大きな問題があり、目的に照らして達成状況が不十分であると判断される場合

なお、対象大学ごとの評価結果については、全体を通じての概要等を加え当機構のウェブサイト
(https://www.niad.ac.jp/evaluation/selection_evaluation/se_university/daigakukika_hyoukakekka/r_1.html) に掲載するなど、広く社会に公表しています。

■高等専門学校機関別認証評価について

○ 令和元年度実施高等専門学校機関別認証評価の評価結果について

当機構では、令和元年度に実施した高等専門学校機関別認証評価の評価結果を評価報告書として取りまとめ、当該高等専門学校及びその設置者へ通知するとともに、文部科学大臣に報告しました。

今回、認証評価を実施した全ての高等専門学校が、当機構の定める高等専門学校機関別認証評価基準を満たしているとの評価結果となりました。

なお、対象高等専門学校ごとの評価結果については、全体を通じての概要等を加え「[令和元年度高等専門学校機関別認証評価実施結果報告](#)」として当機構のウェブサイトに掲載するなど、広く社会に公表しています。

<対象高等専門学校>

【国立高等専門学校】

- | | | |
|--------------|---------------|---------------|
| ・ 釧路工業高等専門学校 | ・ 一関工業高等専門学校 | ・ 茨城工業高等専門学校 |
| ・ 福井工業高等専門学校 | ・ 和歌山工業高等専門学校 | ・ 徳山工業高等専門学校 |
| ・ 高知工業高等専門学校 | ・ 有明工業高等専門学校 | ・ 佐世保工業高等専門学校 |
| ・ 都城工業高等専門学校 | ・ 鹿児島工業高等専門学校 | |

【公立高等専門学校】

- ・ 東京都立産業技術高等専門学校

【私立高等専門学校】

- ・ 国際高等専門学校

○ 令和元年度実施選択的評価事項に係る評価の評価結果について

当機構では、令和元年度に実施した選択的評価事項に係る評価の評価結果を評価報告書として取りまとめ、当該高等専門学校及びその設置者へ通知しました。

選択的評価事項に係る評価は、認証評価を実施した高等専門学校のうち、希望のあった高等専門学校について実施し、当該事項に関わる対象高等専門学校の有する目的の達成状況について評価しました。

<評価結果>

○ 選択的評価事項A「研究活動の状況」（11 高等専門学校）

【国立高等専門学校】

- | | |
|---------------|-------------------|
| ・ 釧路工業高等専門学校 | 目的の達成状況がおおむね良好である |
| ・ 一関工業高等専門学校 | 目的の達成状況が良好である |
| ・ 茨城工業高等専門学校 | 目的の達成状況が良好である |
| ・ 福井工業高等専門学校 | 目的の達成状況がおおむね良好である |
| ・ 和歌山工業高等専門学校 | 目的の達成状況がおおむね良好である |
| ・ 徳山工業高等専門学校 | 目的の達成状況がおおむね良好である |
| ・ 高知工業高等専門学校 | 目的の達成状況がおおむね良好である |
| ・ 有明工業高等専門学校 | 目的の達成状況が良好である |
| ・ 佐世保工業高等専門学校 | 目的の達成状況がおおむね良好である |
| ・ 都城工業高等専門学校 | 目的の達成状況がおおむね良好である |

- ・鹿児島工業高等専門学校 目的の達成状況がおおむね良好である

○選択的評価事項B「地域貢献活動等の状況」（11 高等専門学校）

【国立高等専門学校】

- ・釧路工業高等専門学校 目的の達成状況がおおむね良好である
- ・一関工業高等専門学校 目的の達成状況が良好である
- ・茨城工業高等専門学校 目的の達成状況が良好である
- ・福井工業高等専門学校 目的の達成状況がおおむね良好である
- ・和歌山工業高等専門学校 目的の達成状況がおおむね良好である
- ・徳山工業高等専門学校 目的の達成状況がおおむね良好である
- ・高知工業高等専門学校 目的の達成状況がおおむね良好である
- ・有明工業高等専門学校 目的の達成状況が良好である
- ・佐世保工業高等専門学校 目的の達成状況がおおむね良好である
- ・都城工業高等専門学校 目的の達成状況がおおむね良好である
- ・鹿児島工業高等専門学校 目的の達成状況がおおむね良好である

※評価結果の表記について

評価結果	判断の際の考え方
目的の達成状況が非常に優れている	観点ごとの分析において、取組状況や活動状況が非常に優れており、目的に照らして全体の達成状況が非常に優れていると判断される場合
目的の達成状況が良好である	観点ごとの分析において、取組状況や活動状況が優れており、目的に照らして全体の達成状況が良好であると判断される場合
目的の達成状況がおおむね良好である	観点ごとの分析において、取組状況や活動状況に改善すべきところはあるが、目的に照らして全体の達成状況がおおむね良好であると判断される場合
目的の達成状況が不十分である	観点ごとの分析において、取組状況や活動状況に問題があり、目的に照らして全体の達成状況が不十分であると判断される場合

なお、対象高等専門学校ごとの評価結果については、全体を通じての概要等を加え「[令和元年度高等専門学校機関別認証評価実施結果報告](#)」として当機構のウェブサイトに掲載するなど、広く社会に公表しています。

■法科大学院認証評価について

○ 令和元年度実施法科大学院認証評価の評価結果について

当機構では、令和元年度に実施した法科大学院認証評価（本評価）の評価結果を評価報告書として取りまとめ、当該法科大学院を置く大学及びその設置者へ通知するとともに、文部科学大臣に報告しました。

今回、認証評価（本評価）を実施した法科大学院 1 校は、評価基準に適合しているとの評価結果となりました。

なお、対象法科大学院の評価結果（本評価）については、全体を通じての概要等を加え「[令和元年度法科大学院認証評価実施結果報告](#)」として当機構のウェブサイトに掲載するなど、広く社会に公表しています。

<対象法科大学院>

【国立大学】

- ・筑波大学大学院ビジネス科学研究科法曹専攻

質保証連携

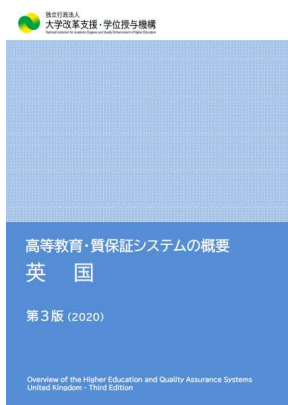
諸外国の質保証制度・動向情報の収集・整理・提供

○ 新規刊行物のご案内 ― 英国の高等教育・質保証システムの概要（第3版）

当機構では、国内外の高等教育質保証の基本的な情報のほか、日本の高等教育機関が質の保証・向上を図るうえで有益な海外の事例を収集し、刊行物等にまとめて広く発信しています。

今回は、日本の高等教育質保証に関する用語や制度の仕組み等を一体として発信するためのツールである「インフォメーション・パッケージ」の新規刊行物として、「英国の高等教育・質保証システムの概要（第3版）」を令和2年3月に刊行しましたので、ご案内します。

英国の高等教育・質保証システムの概要（第3版）



英国はイングランド、ウェールズ、スコットランド、北アイルランドの各地域で独自の教育制度・質保証制度を有しています。教育制度に関しては、英国の高等教育資格や高等教育への接続に関する情報等、高等教育資格の円滑な承認に資する情報を重点的にまとめました。質保証制度に関しては、イングランドを中心に最新の質保証動向を反映した情報を掲載しています。

以上の刊行物の電子版は大学改革支援・学位授与機構ウェブサイトのページよりご覧いただけます。

<https://www.niad.ac.jp/consolidation/international/publish/package.html>

調査研究

○『大学評価・学位研究』の第20号・第21号合併号を刊行

令和2年3月、機構が編集する『大学評価・学位研究』の第20号・第21号合併号を刊行しました。今号には、蝶「1950年代半ばにおける『学生担当職』の担い手に関する一考察―『学生部』の教職員養成と研修事例に着目して―」を[論文]として、二宮他「大学における新しい専門職のキャリアと働き方―聞き取り調査の結果から―」、山本「解説：我が国へのURAの導入―その経緯、活動と課題―」及び栗原他「教養系学科カリキュラムの共通性―授業科目名称の計量分析を通じて―」を[研究ノート・資料]として掲載しています。本誌は、研究開発部が中心となって編集委員会を組織し、機構外の専門家による査読を経て掲載の採否を決定し、編集、刊行しています。本合併号及び過去の各号の内容は、当機構ウェブサイト（<https://www.niad.ac.jp/publication/tyousa/gakujutsushi.html>）において利用することができます。



機構の窓

■ 会議の開催状況

○ 大学機関別認証評価委員会

- ・第4回 令和2年3月11日（水）～3月16日（月） ※書面審議により開催

議事

- 1 評価結果（案）について
- 2 「大学機関別認証評価における第三者による評価結果の活用に関する要領」に基づく評価結果の活用について
- 3 令和2年度大学機関別認証評価 実施大綱等について

○ 高等専門学校機関別認証評価委員会

- ・第3回 令和2年3月5日（木）～3月16日（月） ※書面審議により開催

議事

- 1 令和元年度高等専門学校機関別認証評価に係る評価結果について
- 2 高等専門学校機関別認証評価実施大綱の改訂について
- 3 令和2年度高等専門学校機関別認証評価に係る専門委員の選考について
- 4 その他

○ 法科大学院認証評価委員会

- ・第4回 令和2年3月9日（月）～3月17日（火） ※書面審議により開催

議事

- 1 評価結果について
- 2 「教育課程、教員組織その他法科大学院の教育活動全般に係る重要な変更又は状況の変化」及び「対応状況報告書」の調査結果に対する評価結果への付記事項等について
- 3 専門委員の選考について
- 4 法科大学院評価基準要綱の改定について
- 5 その他

○ 新型コロナウイルス感染拡大に関連した対応について

当機構では新型コロナウイルス感染拡大の状況に鑑み、政府により決定された「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」を踏まえて令和2年3月に予定されていた機構主催の各行事について、以下のとおり変更や中止等の対応を行いました。

3月

開催予定日	行事名	対応	担当課
9日	国立大学法人等の教育研究評価に係る評価者研修会（達成状況判定会議）	web 開催	評価企画課
9日～12日	APNNIC（アジア太平洋国内情報センターネットワーク）日本招聘プロジェクト	延期（時期未定）	国際課
11日	国立大学法人等の教育研究評価に係る評価者研修会（現況分析部会）	web 開催	評価企画課
14日	大学改革支援・学位授与機構で学士の学位取得をめざす方への説明会	中止	学位審査課
17日	国立大学法人等の教育研究評価に係る評価者研修会（達成状況判定会議）	web 開催	評価企画課
19日	国立大学法人等の教育研究評価に係る評価者研修会（現況分析部会）	web 開催	評価企画課

※2月までの各行事については予定どおり開催されました。

主要行事日程

○ Schedule

5月

日	行事名	担当課
15 日	学位審査会（令和 2 年度第 1 回）	学位審査課

6月

日	行事名	担当課
7 日	令和2年度4月期学位授与試験（小論文）（東京地区、大阪地区）	学位審査課
7 日	令和2年度4月期学位授与試験（面接）（東京地区）	学位審査課

＊ 新型コロナウイルス感染症の状況により、上記のスケジュールについて変更、延期などの影響が生じる可能性がありますので、機構ウェブサイトに掲載される最新の情報をご確認ください。



独立行政法人

大学改革支援・学位授与機構

National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education

